

# 竣工図作成及び写真管理の手引き

## 1. 竣工図

位置図 (基本 1/5000)

平面図 (1/500)

断面図 (基本 1/100、全幅)

詳細図 (基本 1/100)

測点 起点(0地点)より20m間隔

文字及び数字は3mm以上

寸法は境界から計測し、記載

線幅

寸法線、引出線 15/100 mm以上

街区、建物、側溝、水路、歩道線等 25/100 mm以上

新設、既設管(仕切弁、バルブ含む) 35/100 mm以上

管の種別、シンボルは、マッピングの表記例を参照

## 2. 写真

土工

1) 起点(0地点)より測点ごとに撮影

2) 着工前、完工

3) 舗装切断、舗装版掘削、床堀、床堀完工、埋戻(各層毎)、下層路盤、上層路盤、仮舗装、影響部舗装切断、すきとり、不陸修正、舗装厚、舗装

4) 障害物(水路、他の占用物)等 「測点より m」(凡例参照)

5) 以上を踏まえ、起点から順に2)を先に並べ、その後に3)と4)を並べる

配管

1) 起点(0地点)より測点ごとに撮影(全体、詳細、黒板 画面一杯)

2) 異形管、切管、分岐、障害物(水路、他の占用物)等 「測点より m」(凡例参照)

3) 分水栓の位置は、受け口及び境界からの寸法記載

4) 以上を踏まえ起点より順に並べる

デジタル写真の取扱いに関しては、「工事写真管理における電子媒体の使用について」を参照

## 3. その他

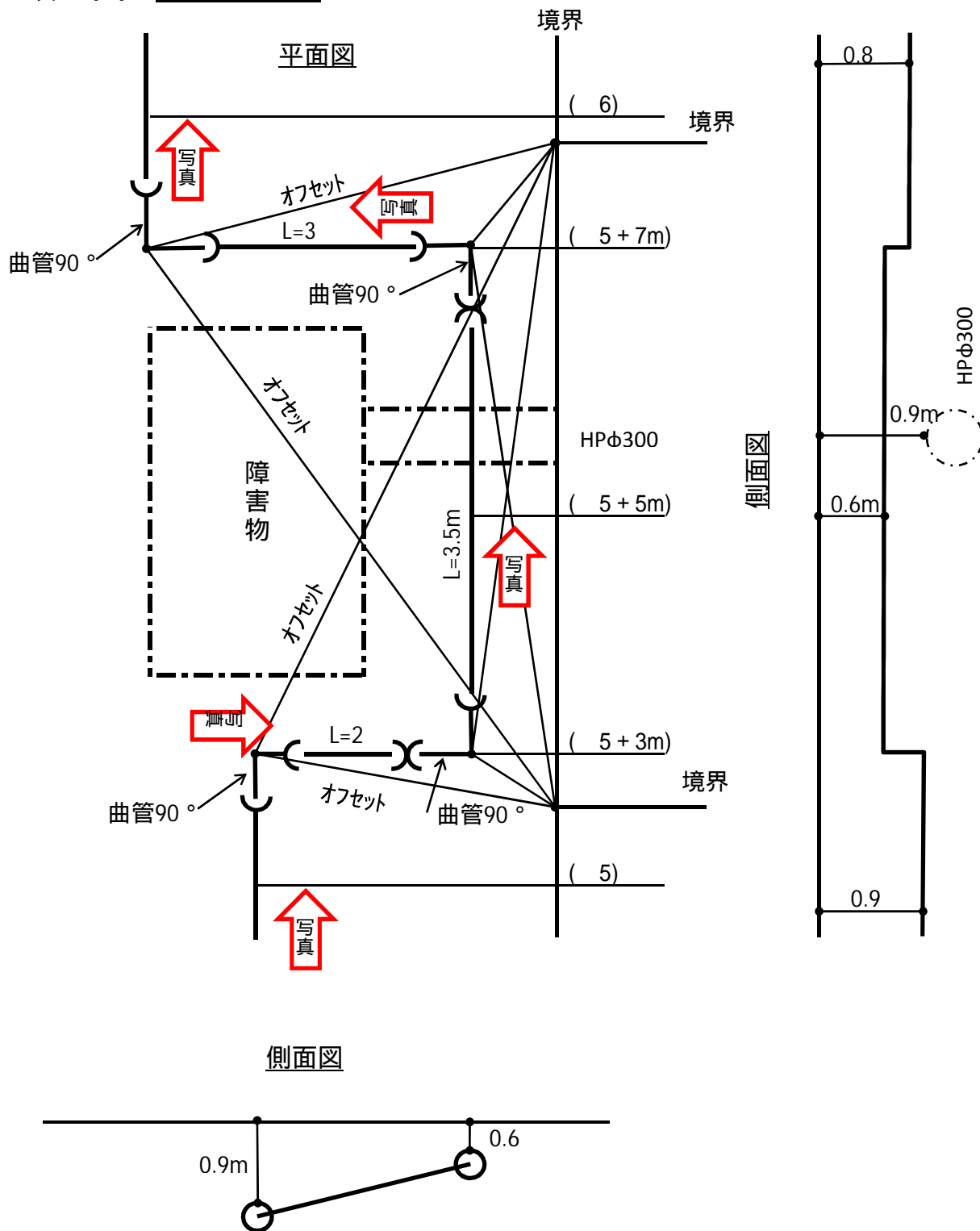
図面が複数になる場合、原則として

1) 1枚目に平面図、断面図、位置図、2枚目以降に詳細図、位置図

2) 平面図が1枚に収まらない場合は各枚ごとに、平面図、詳細図、位置図

# 工事写真の測点管理 (より m) の凡例

## < 竣工図 > B部詳細図



障害物等で異形管状況の全景が収まらない場合は、原則として起点側から分割して撮影する  
 写真管理上の測点 は、竣工図の詳細図への記入を必須としない